

図 版



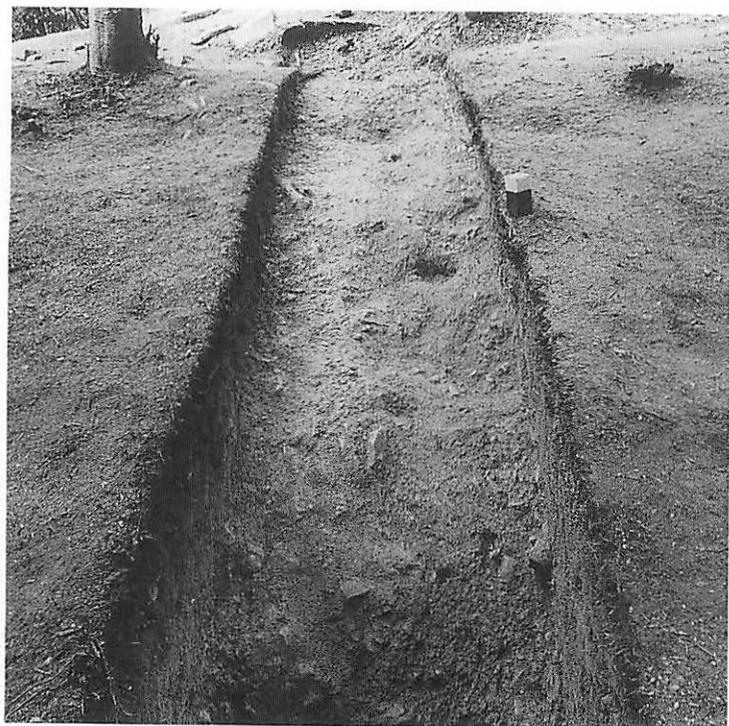
調査参加者集合写真（広浦古墳にて）



1 7号墳の現状（西から）



2 26号墳の現状（南から）



1 5号墳北トレンチ完掘状況（北から）



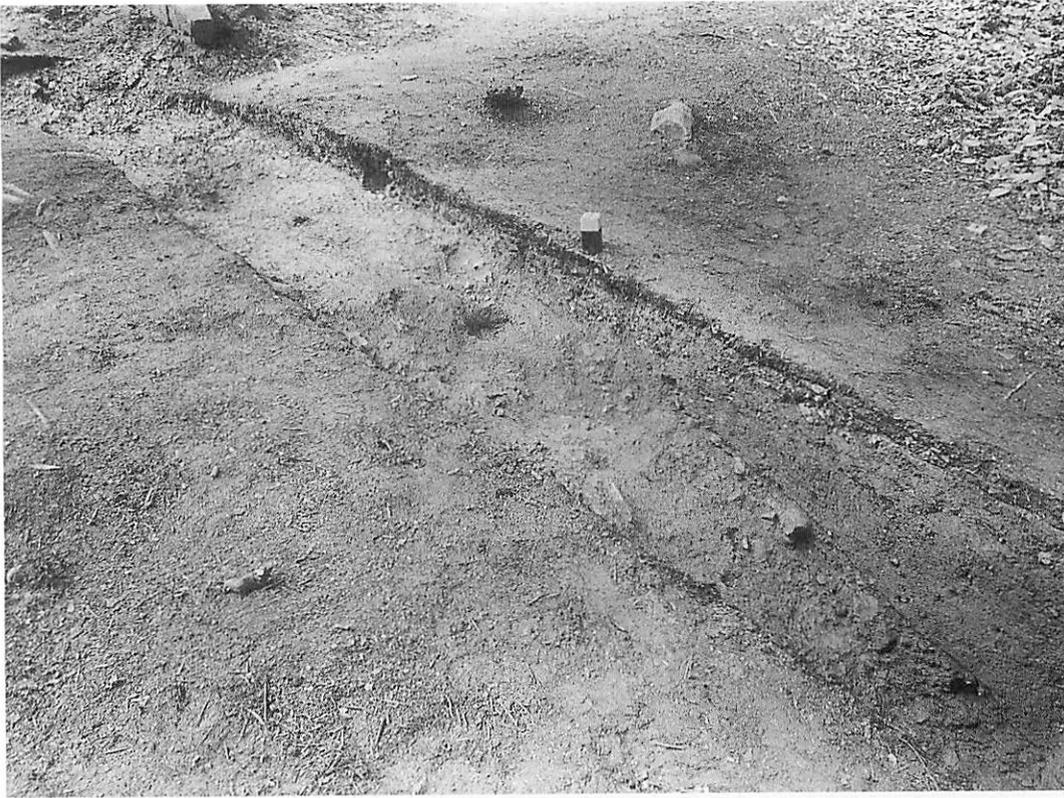
2 5号墳南トレンチ完掘状況（南から）



3 5号墳東トレンチ完掘状況（東から）



4 5号墳西トレンチ完掘状況（西から）



1 5号墳北トレンチ西壁土層断面
(東から)



2 5号墳西トレンチT5-3・T5-4ライン土層断面
(北から)



3 5号墳北トレンチ平坦面検出状況(西から)



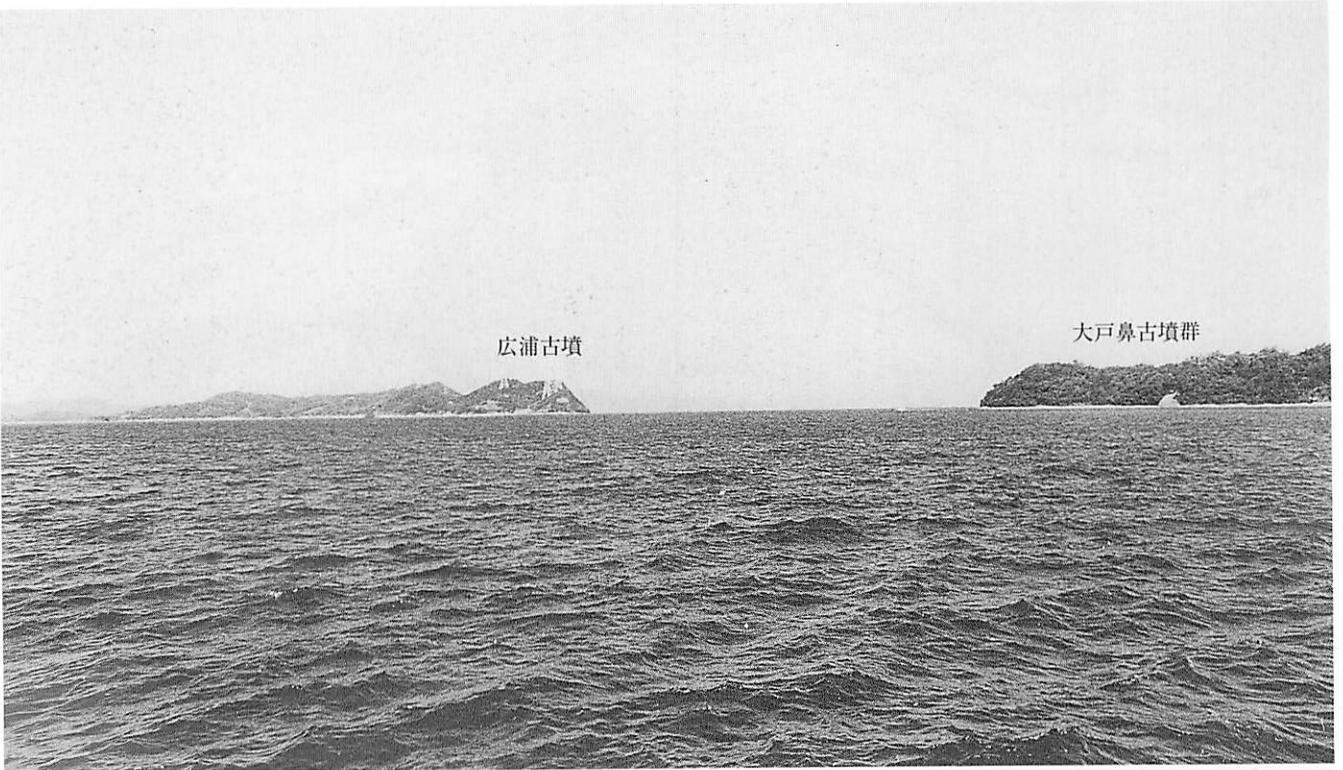
4 5号墳西トレンチ溝状遺構検出状況(北から)



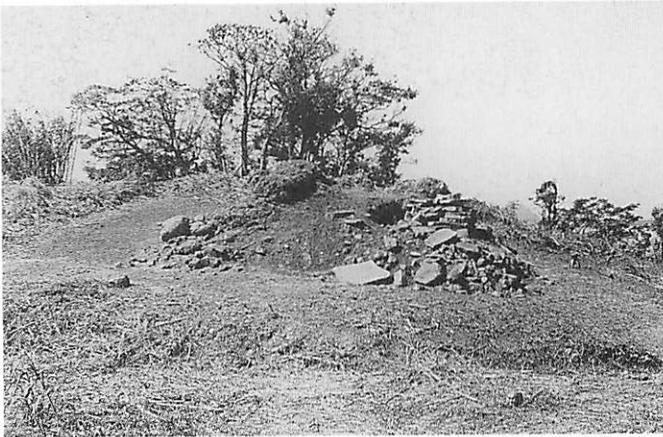
1 5号墳石室全景
(南から)



2 5号墳石室羨道部
(北から)



1 広浦古墳遠景（長砂連古墳周辺から）



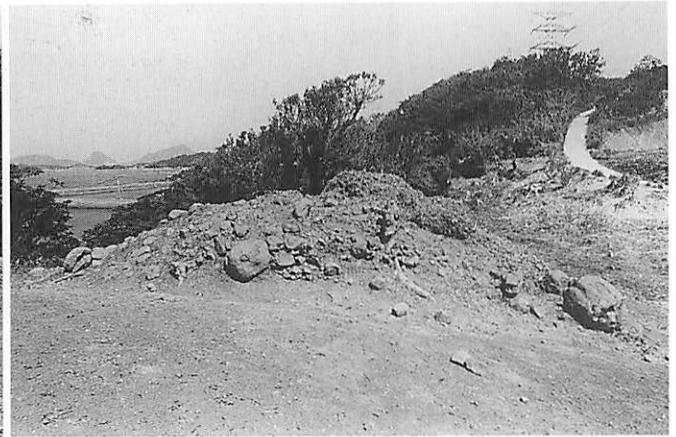
2 墳丘近景（東から）



3 墳丘近景（北から）



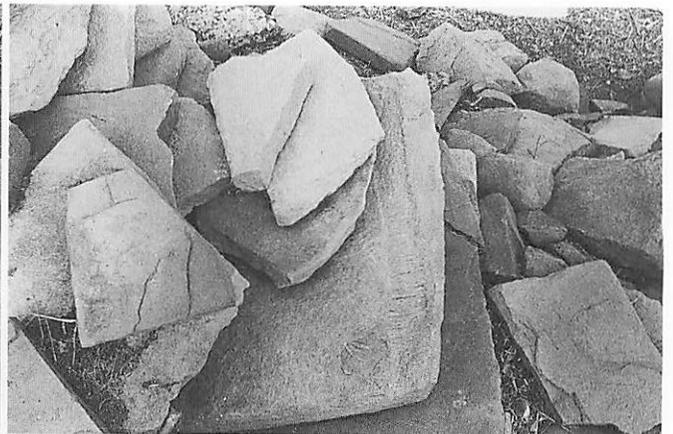
4 墳丘近景（西から）



5 墳丘近景（南から）



1 石棺材 1



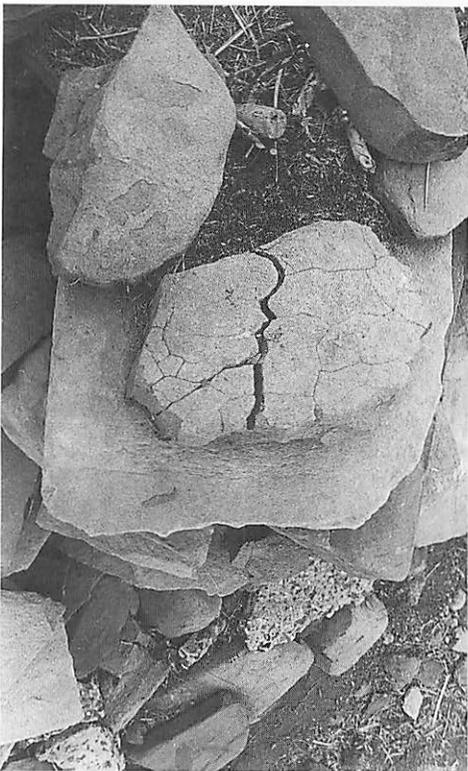
2 石棺材 2



3 石棺材 3



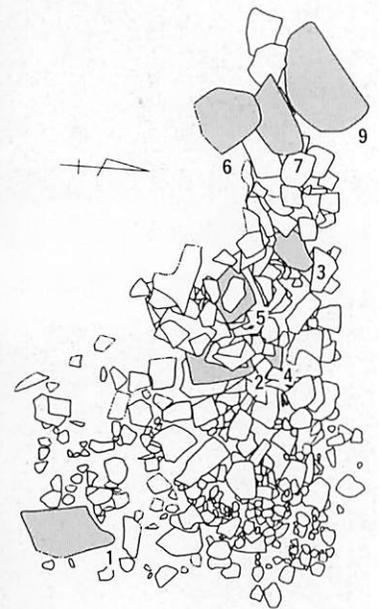
4 石棺材 4



5 石棺材 5



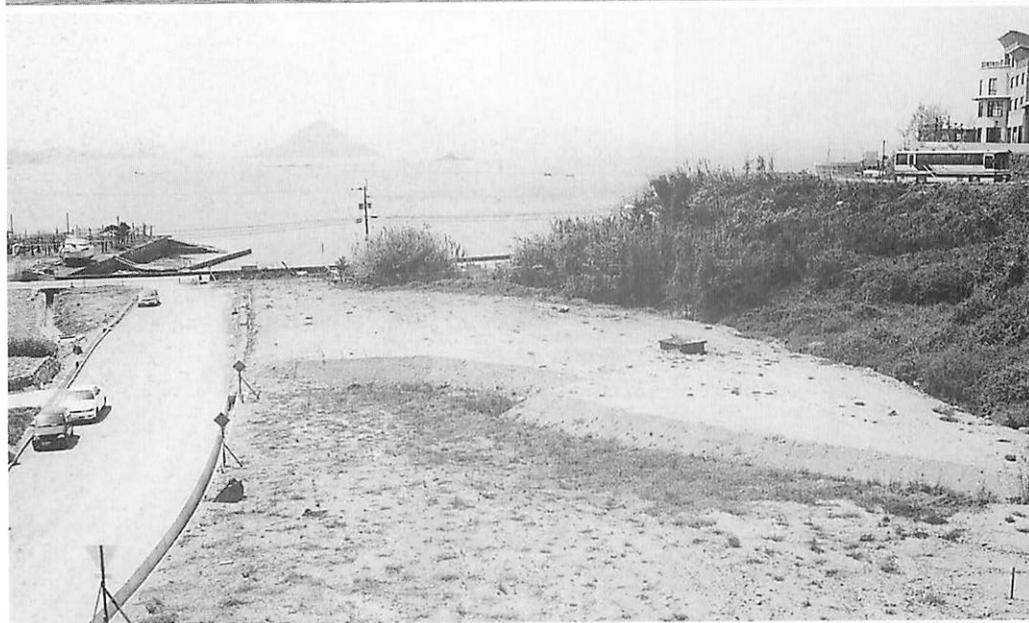
6 石棺材 6・7・9



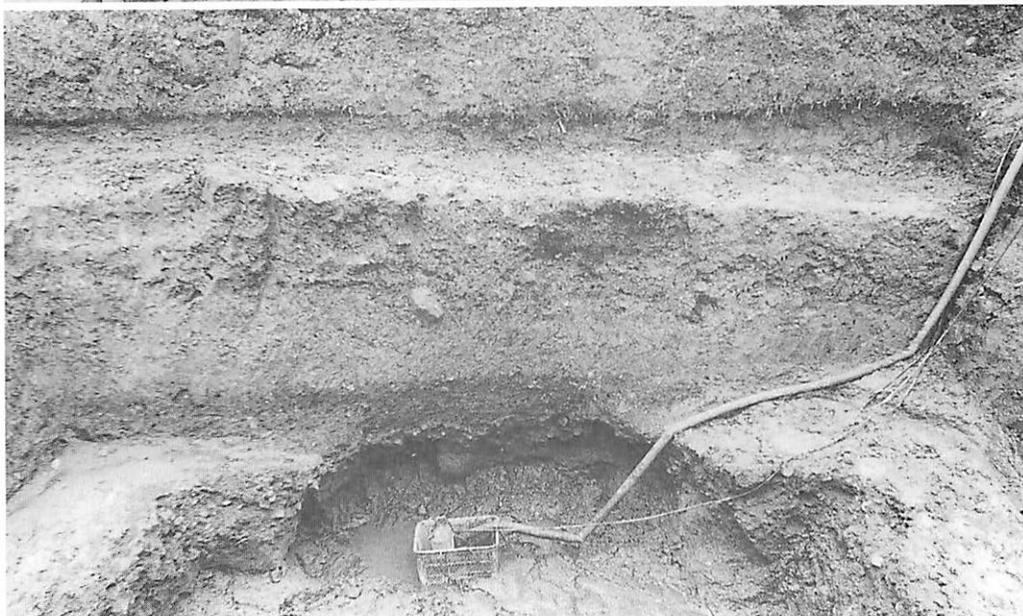
石棺材分布状況



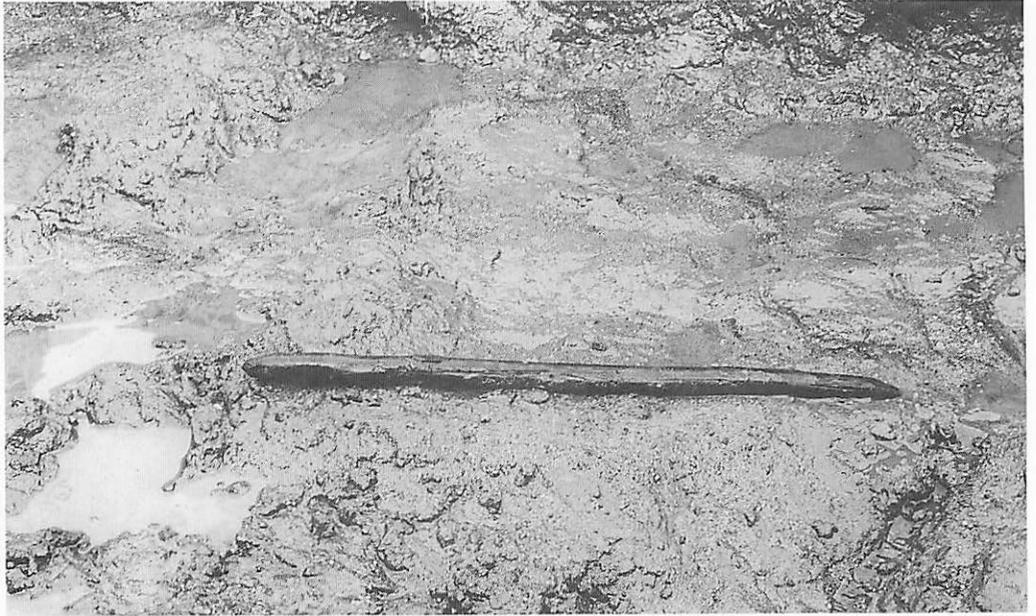
1 小波戸遺跡遠景（南から）



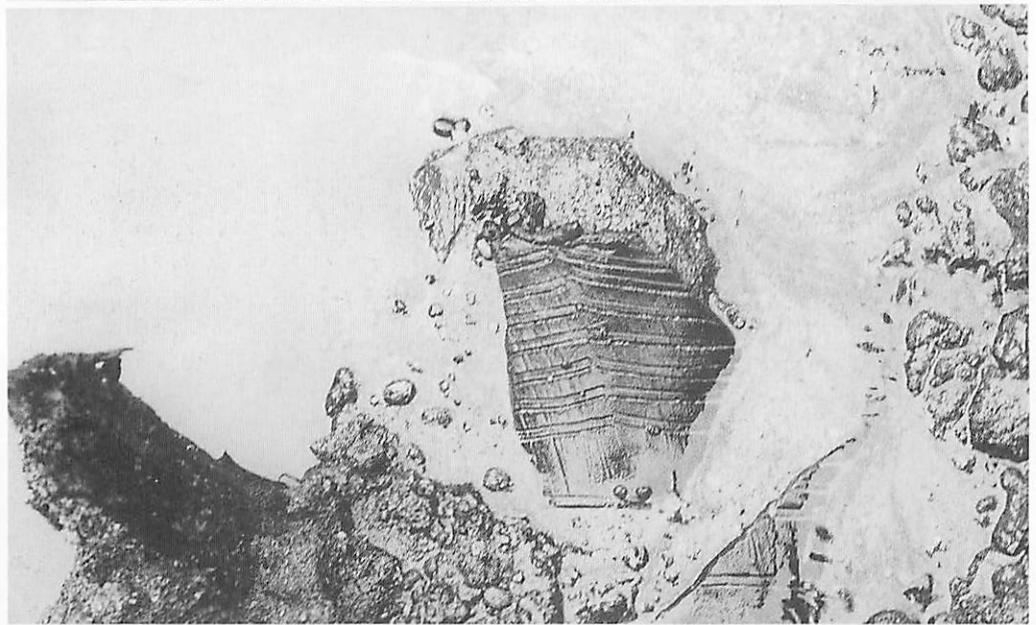
2 小波戸遺跡近景（北から）



3 調査区西壁断面（東から）



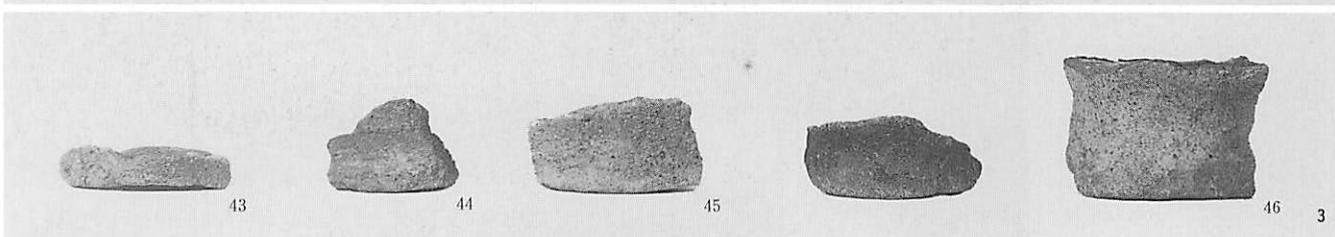
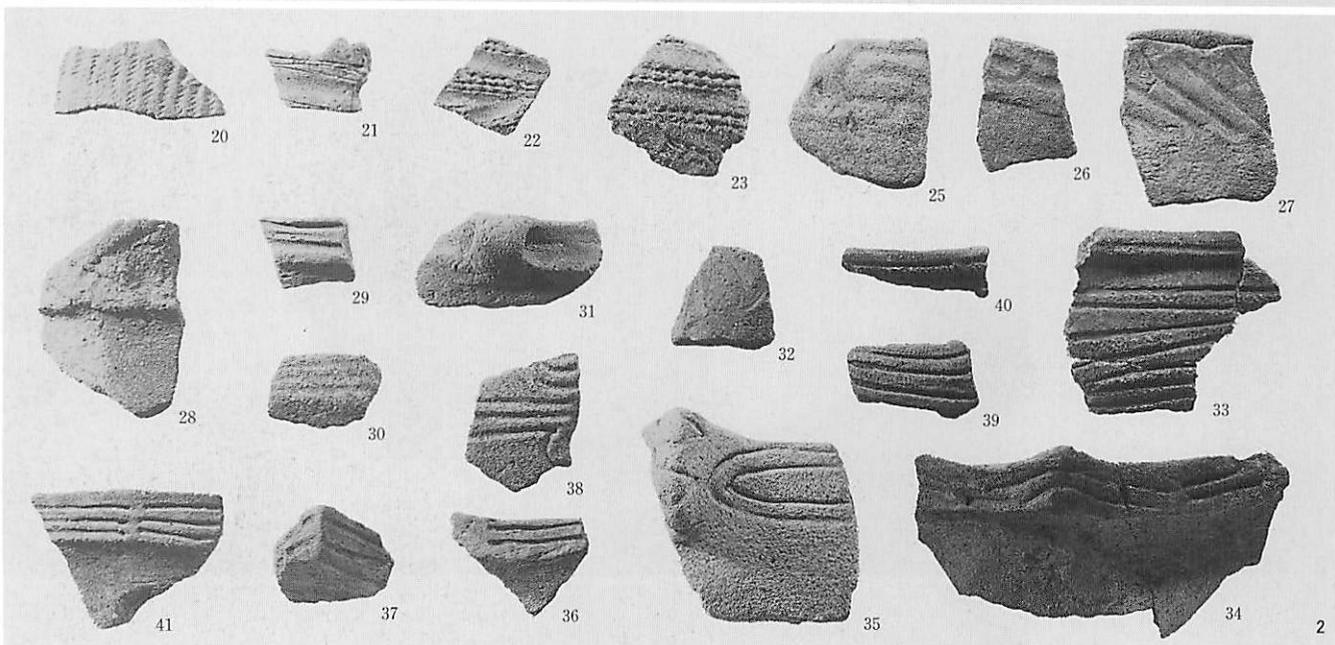
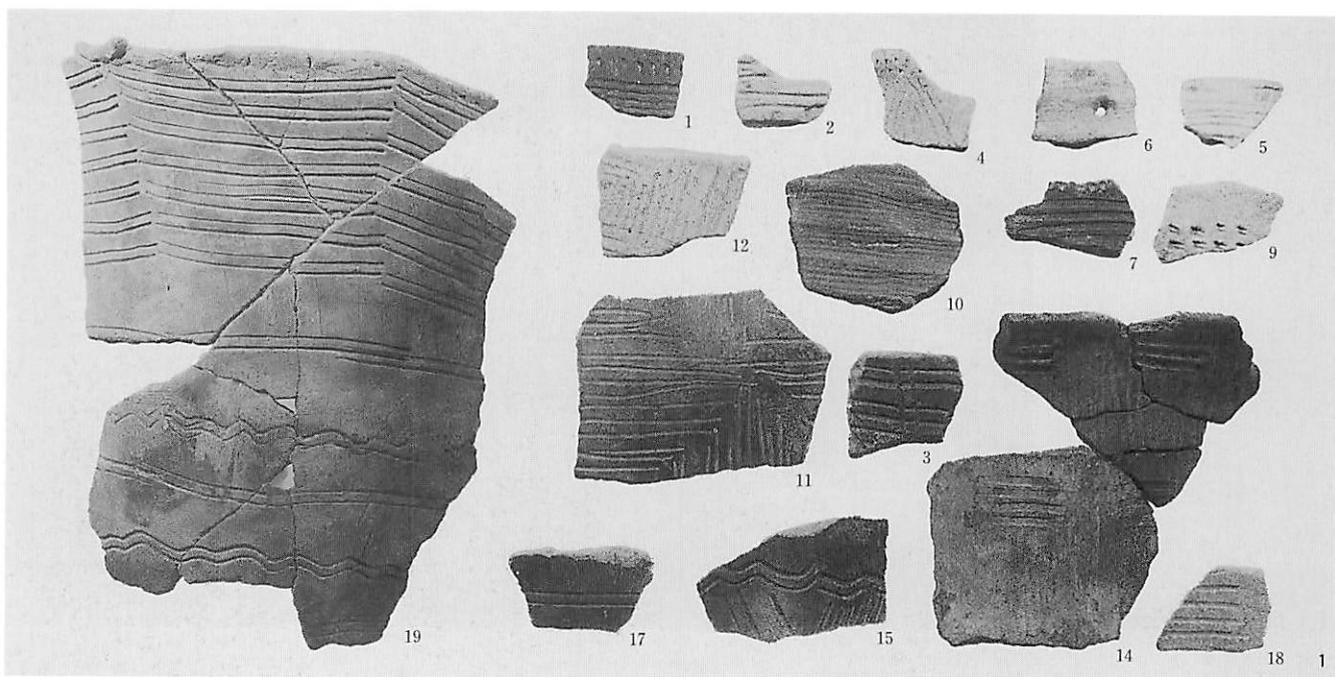
1 17層木器出土状況



2 18層轟式土器出土状況



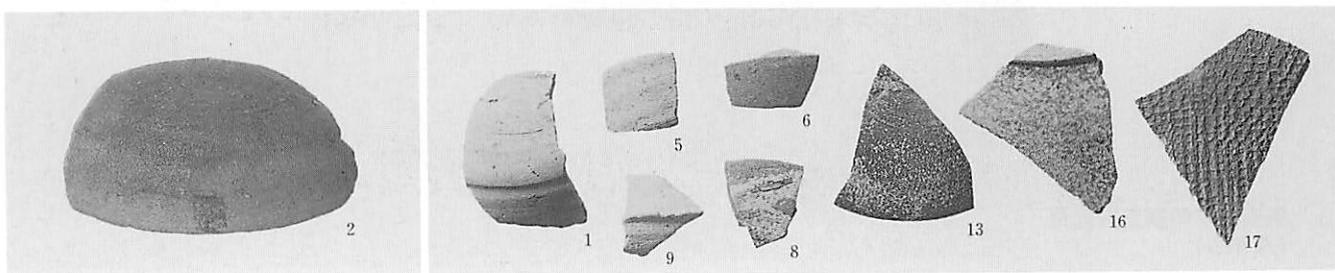
3 調査終了時調査区近景
(西から)



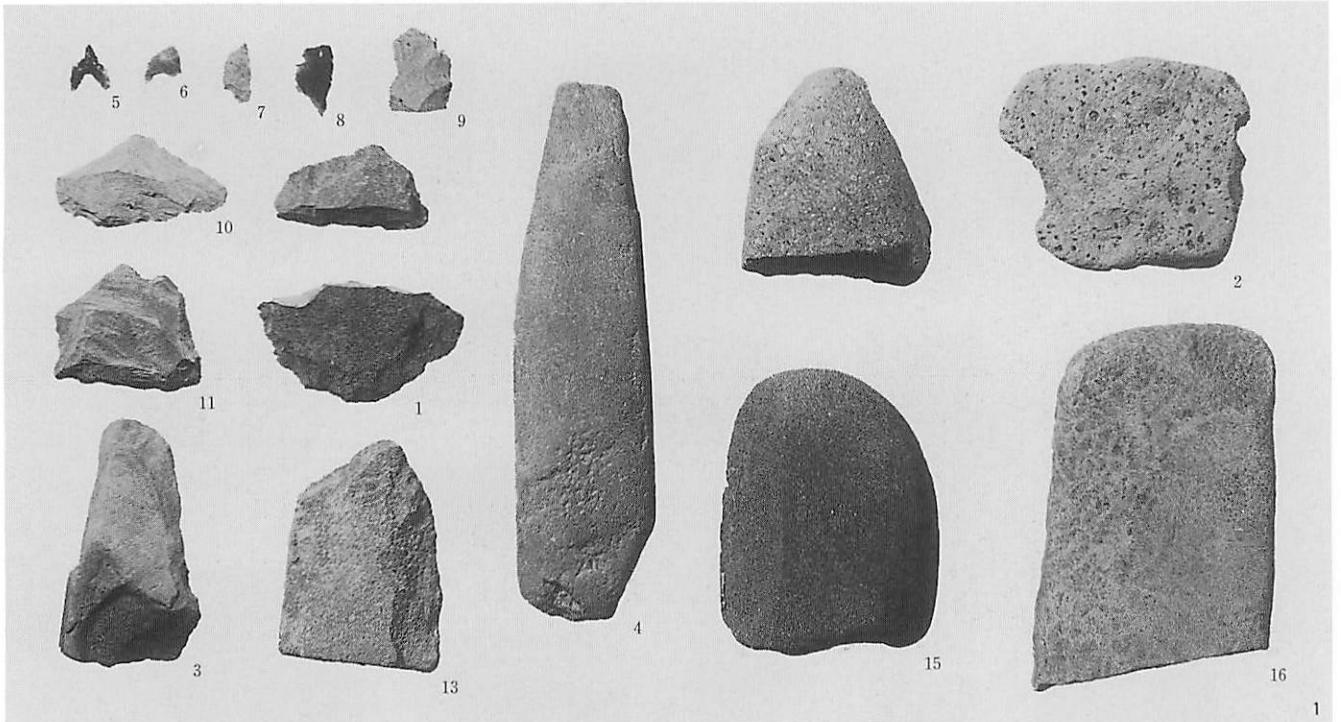
1 縄文時代前期の土器

2 縄文時代中期～後期の土器

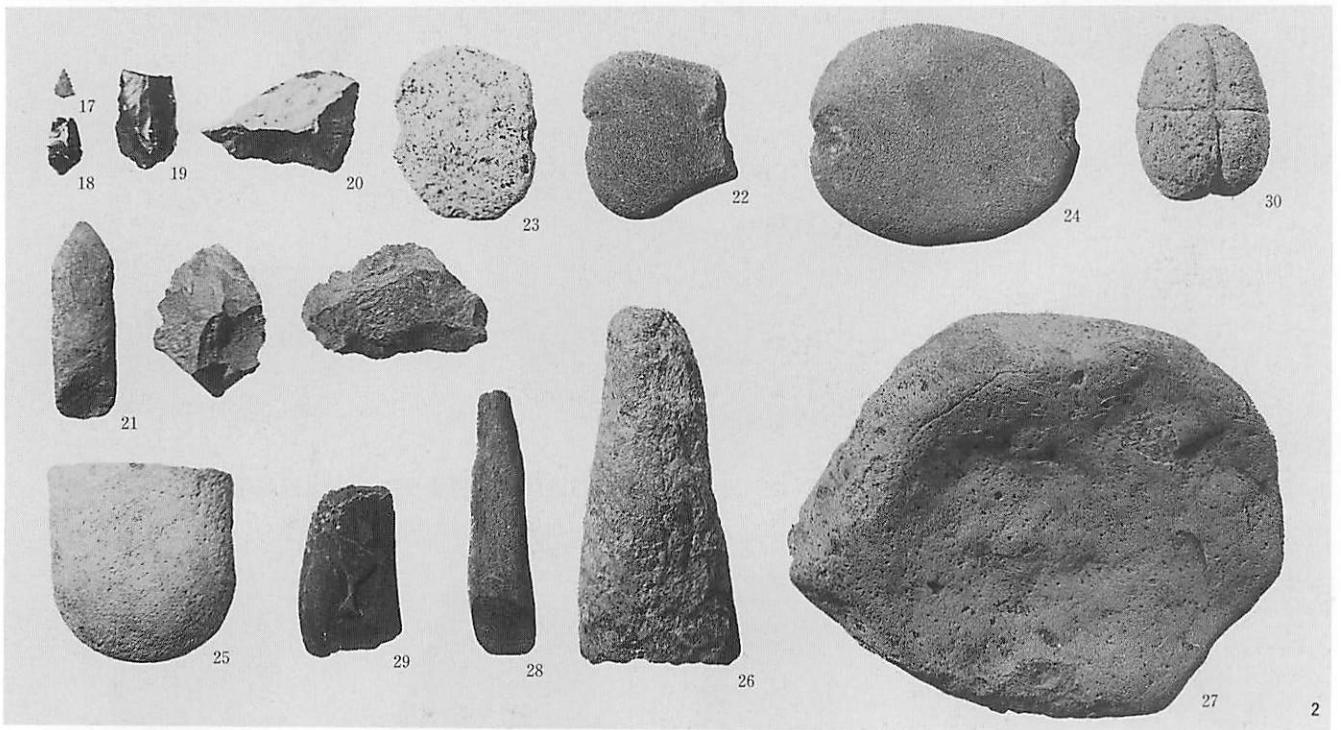
3 縄文土器底部資料



4 須恵器

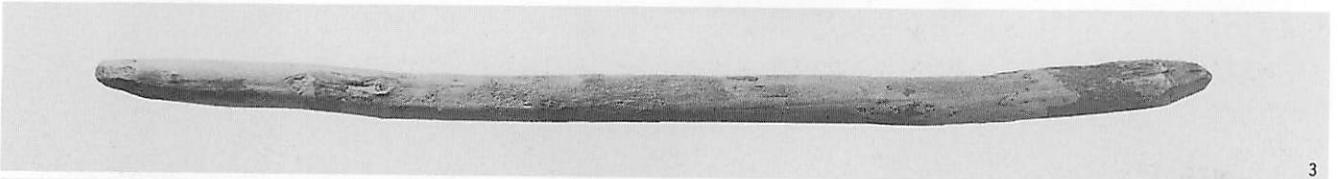


1

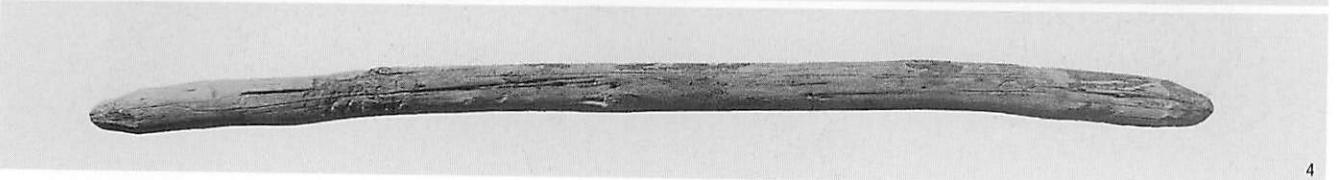


2

1 縄文時代石器 (15層下・16層) 2 縄文時代石器 (17層・18層・層位不明)

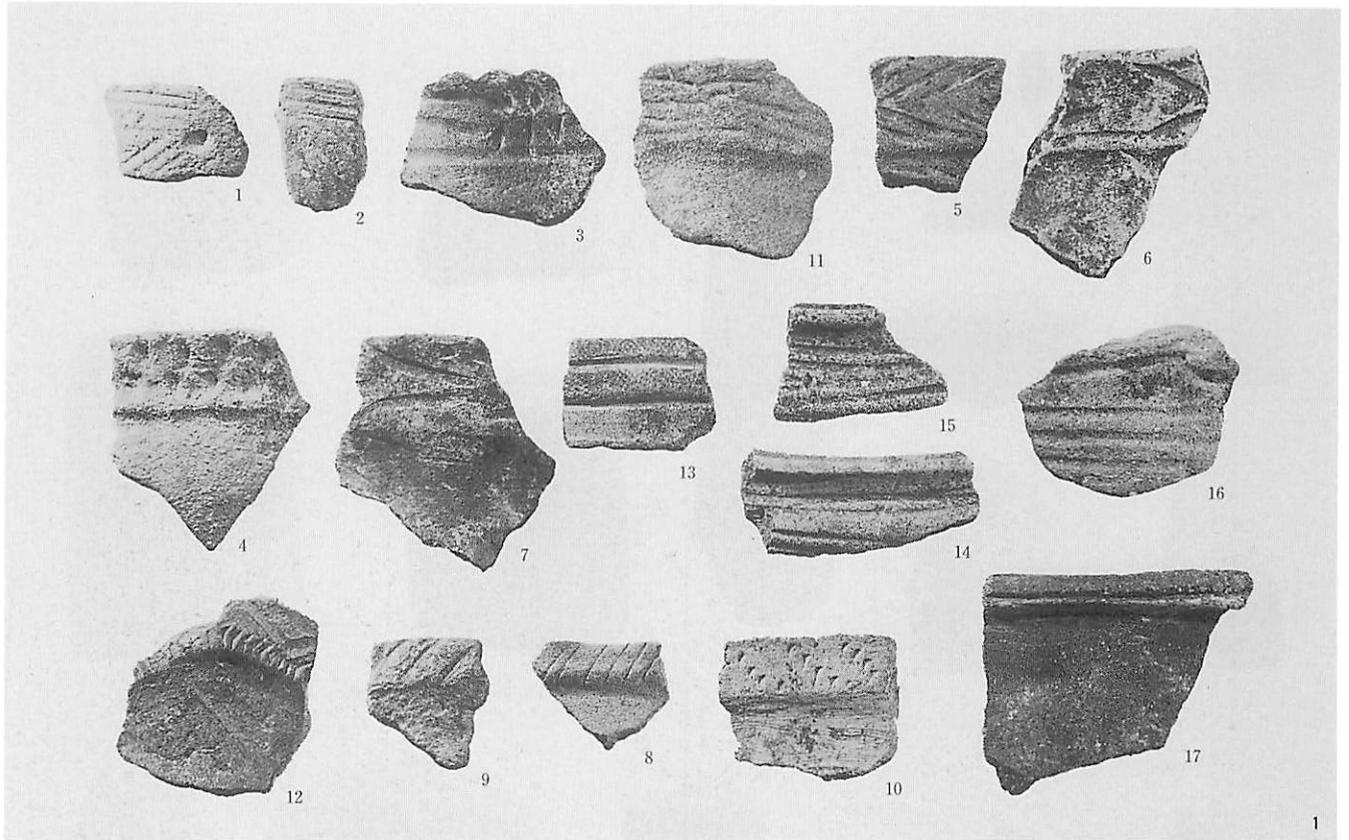


3



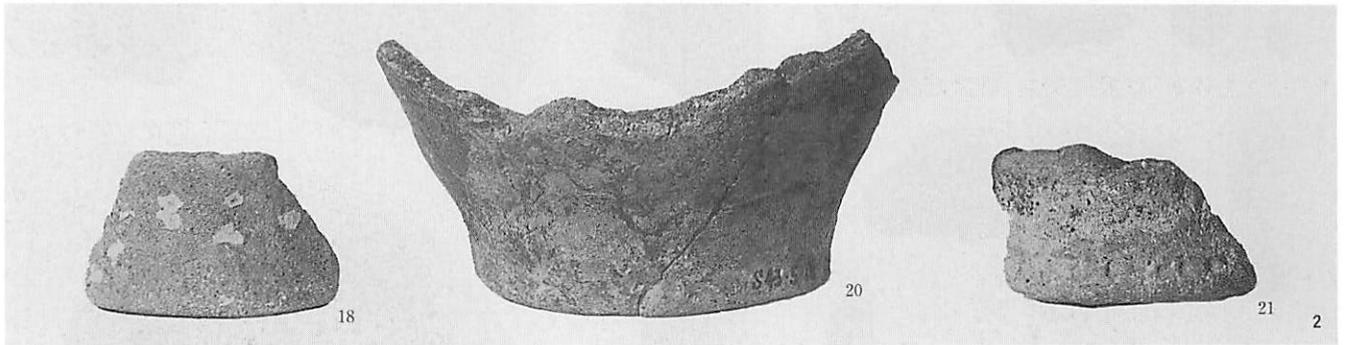
4

3 掘棒 (表面) 4 掘棒 (裏面)

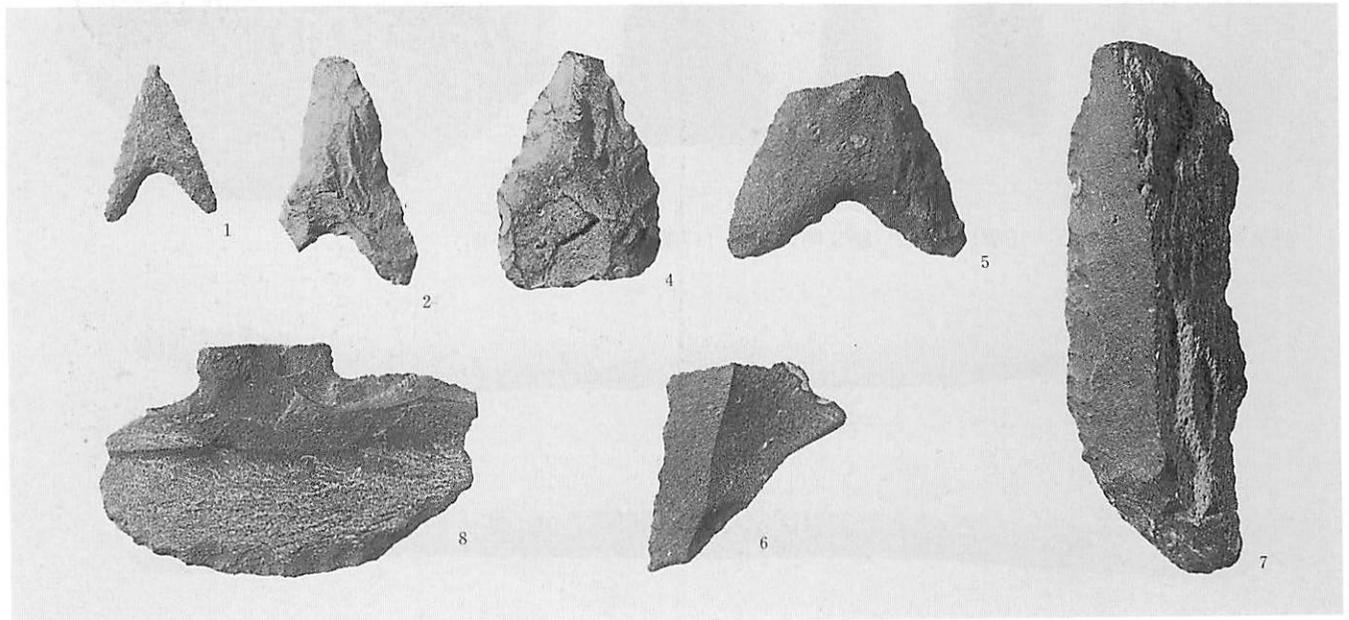


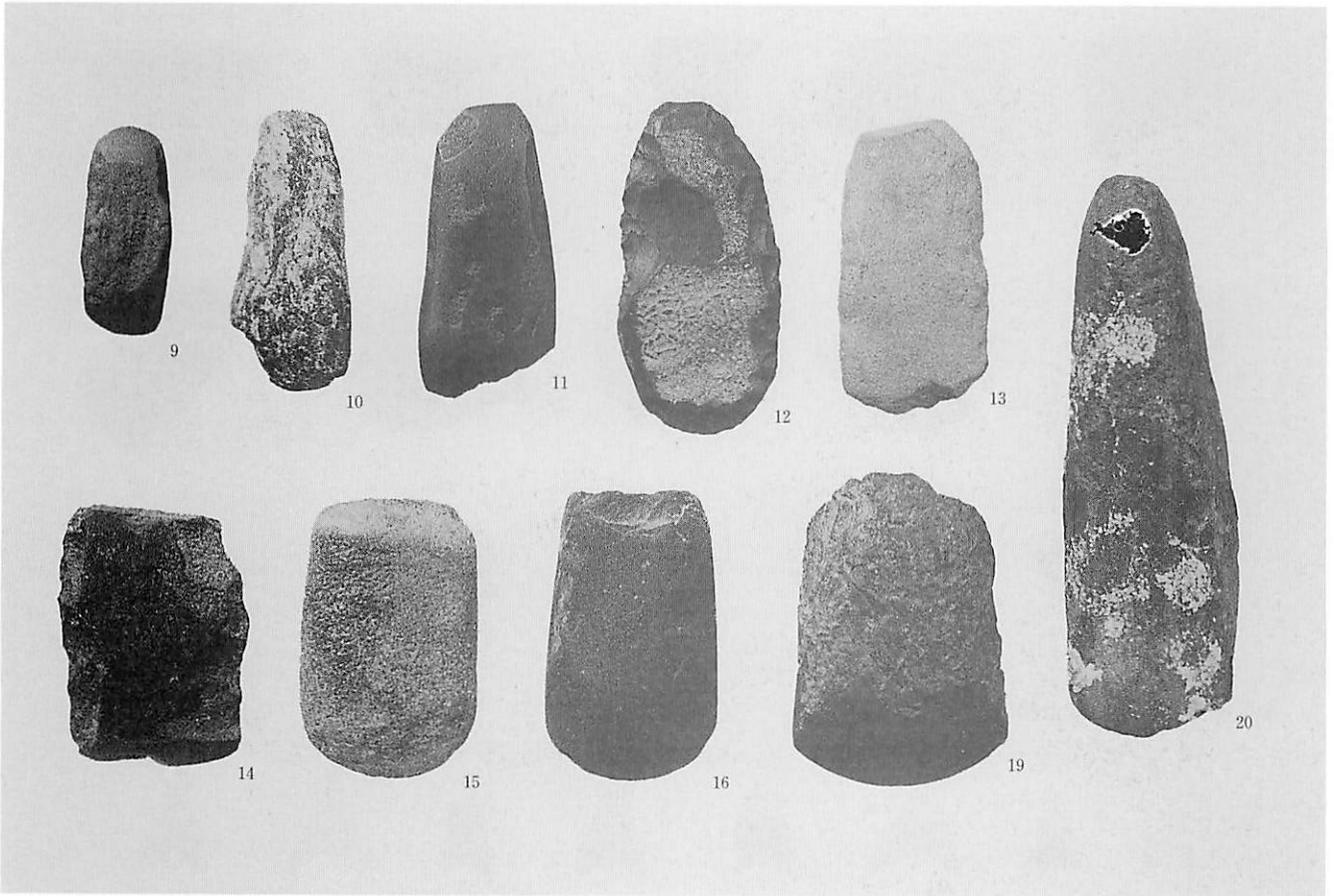
1 小波戸遺跡・江樋戸遺跡表面採集縄文土器

2 小波戸遺跡・江樋戸遺跡表面採集縄文土器底部資料

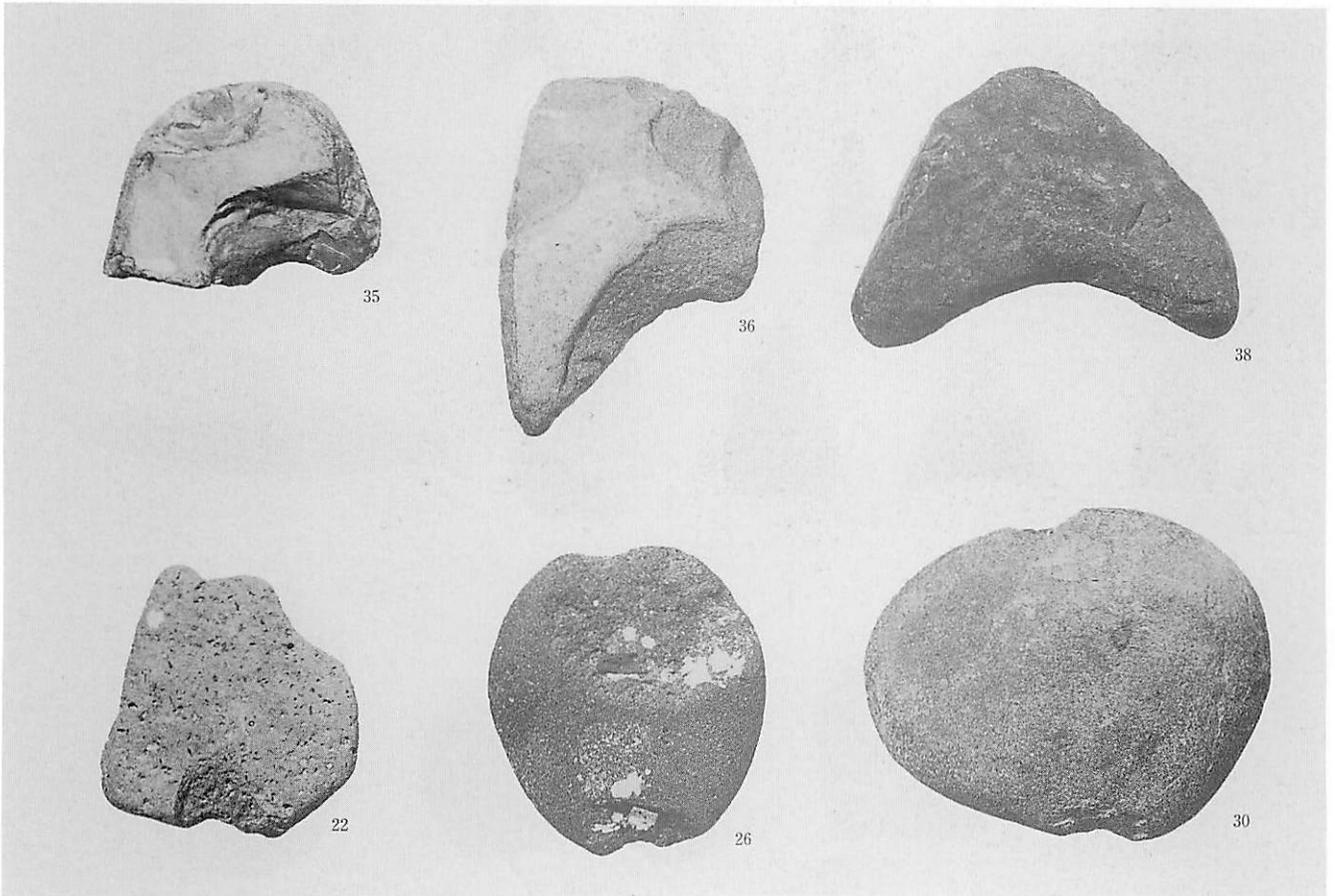


3 小波戸遺跡・江樋戸遺跡表面採集石器（剥片石器）

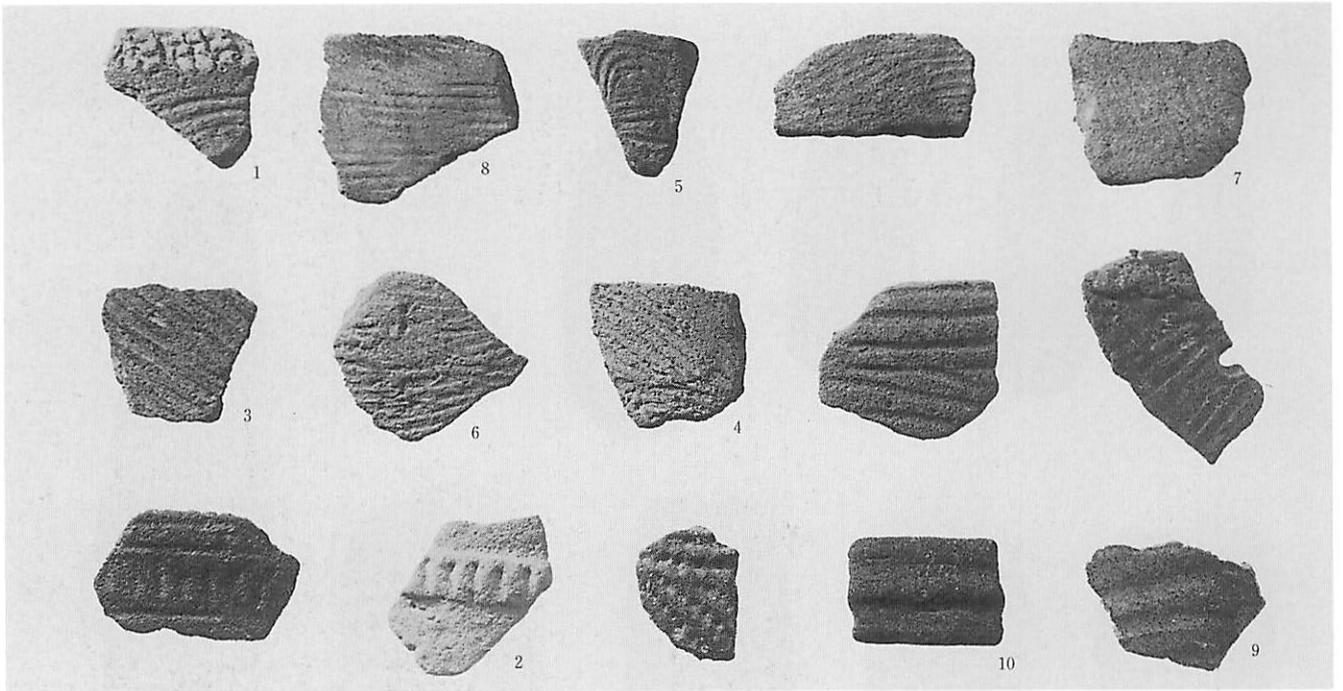




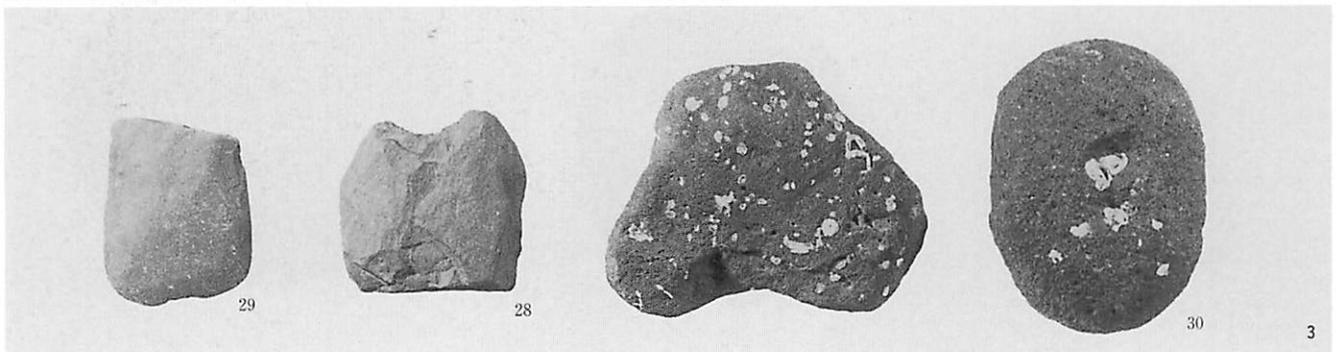
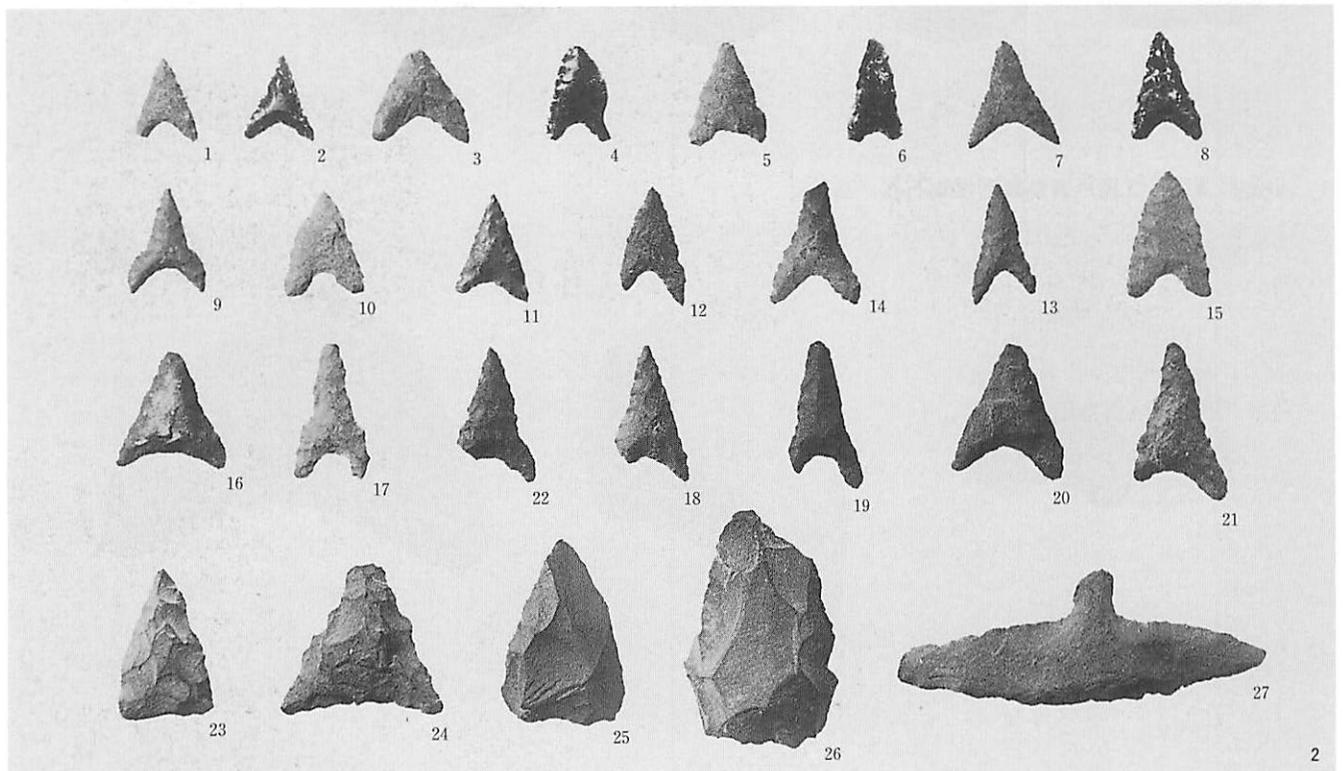
1 小波戸遺跡・江樋戸遺跡表面採集石器（石斧）



2 小波戸遺跡・江樋戸遺跡表面採集石器（石錘・石器）

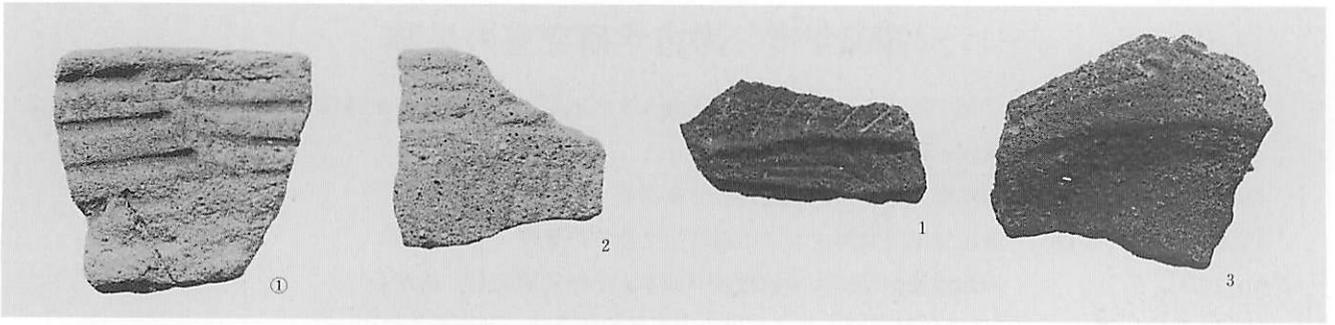


1 柳貝塚表面採集縄文土器

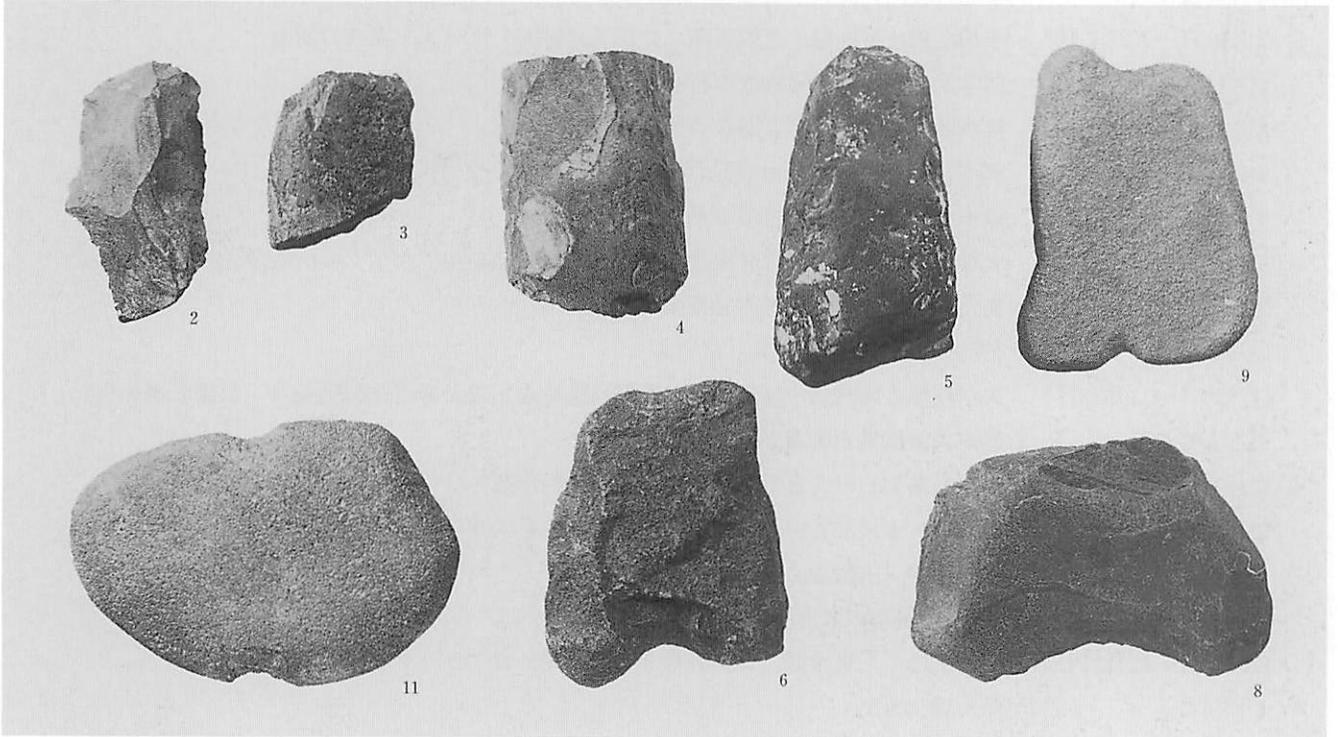


2 柳貝塚表面採集石器 (石鎌・石匙)

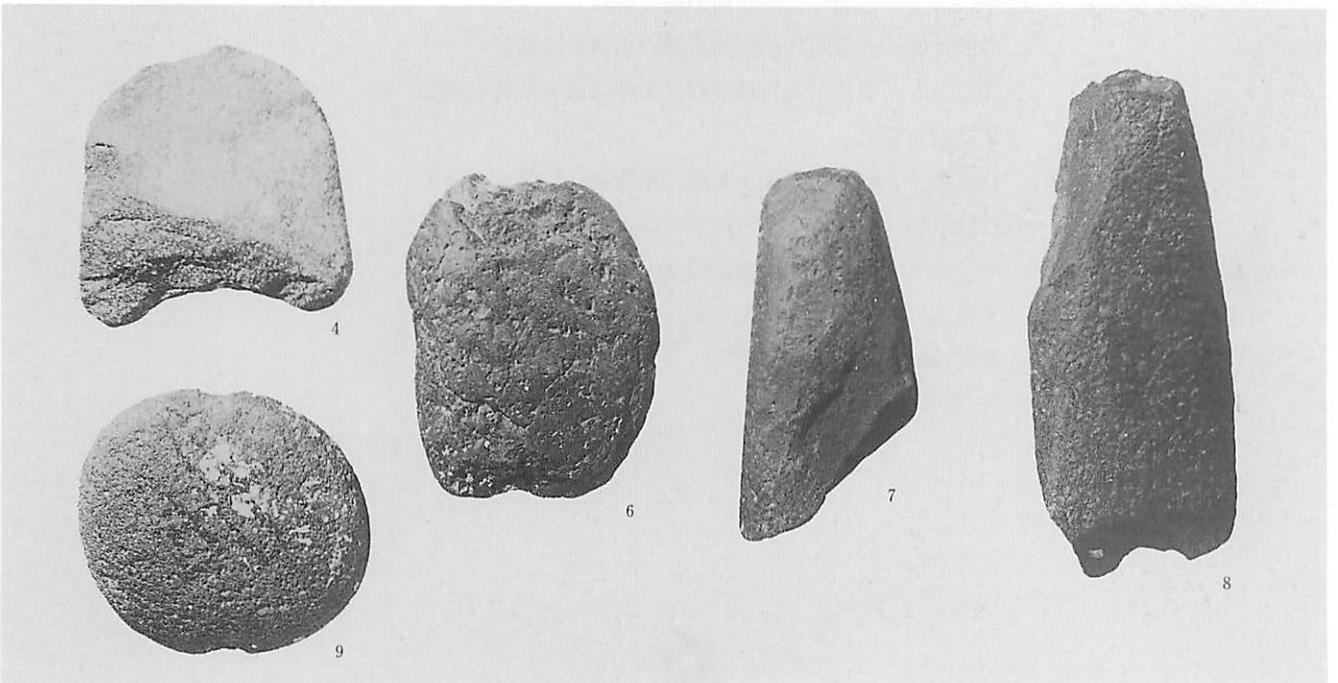
3 柳貝塚表面採集石器 (石斧・礫器等)



1 荒木浜・治郎田遺跡表面採集縄文土器 (①のみ荒木浜、その他は全て治郎田)



2 荒木浜遺跡表面採集石器



3 治郎田・満越・串遺跡表面採集石器

2005年度 考古学研究室の足跡

- 4月1日 学部2年生6名進学、3年次編入生2名編入、大学院修士課程3名入学、同博士課程3名入学、研究生1名入学
- 4月29日～5月3日 熊本県上天草市所在遺跡の分布調査
- 4月29日～5月3日 鹿児島県笠利町マツノト遺跡出土遺物の整理・分析作業
- 6月17日 李起吉韓国朝鮮大学校教授（熊本大学特別研究員）講演会
「最近の韓国西南部における旧石器時代遺跡の調査成果について」
- 6月26日 李起吉韓国朝鮮大学校教授（熊本大学特別研究員）帰国
- 7月24日～8月7日 小畑弘己、金姓旭、芝康次郎、ロシア共和国クラーク5遺跡の調査
- 8月11日～8月21日 熊本県氷川町大野窟古墳の石室実測調査
- 8月17日～9月1日 熊本県西原村河原第3遺跡の第6次調査
- 9月11日～9月28日 熊本県上天草市千崎古墳群の第4次調査
- 9月11日～9月28日 熊本県上天草市広浦古墳の測量・実測調査
- 9月29日～10月2日 大学院集中講義「文化財保全政策特論」東京純心女子大学 和田勝彦先生
- 10月29日～10月31日 島根県松江市古浦遺跡の発掘調査
- 11月3日 「先史琉球の生業と交易」研究会
- 11月20日～11月23日 大学院博士課程集中講義「文化発信政策特論」読売新聞社編集委員 板橋旺爾先生
- 12月3日 熊本大学海外学術調査研究報告会
- 12月3日～12月6日 鹿児島県笠利町安良川遺跡出土遺物の分析作業
- 12月19日～12月22日 文学部・大学院集中講義「弥生文化研究－様式論の考え方と実践からのアプローチ－」
愛媛大学 田崎博之先生
- 12月23日～12月24日 「寒冷化現象の考古学的検証」研究会
- 12月25日～12月29日 小畑弘己、芝康次郎、ロシア科学アカデミーでクラーク5遺跡の遺物整理
- 1月10日 修士論文提出
中村友昭「古墳時代南海産貝交易からみた奄美・沖縄諸島」
中山清美「古墳時代並行期の奄美諸島」
南健太郎「弥生時代小形仿製鏡の生産と流通」
森幸一郎「中世末から織豊期における城郭と権力構造」
- 1月12日 卒業論文提出
仙波靖子「縄文時代後・晩期の植物利用に関する研究」
牧野幸子「古墳時代中・後期における鉄鍬の研究」
- 2月11日 卒業論文・修士論文口頭試問会
- 3月24日 卒業式・修了式 学部生2名、大学院生4名を送る
- 3月31日 考古学研究室報告第41集発行

報告書抄録

ふりがな	せんぞきこふんぐんだい4じちょうさほうこく								
書名	千崎古墳群第4次調査報告								
シリーズ名	考古学研究室報告								
シリーズ番号	41								
編集者名	前田 真由子 (まえだ まゆこ)								
発行機関	熊本大学文学部考古学研究室								
所在地	〒860-8555 熊本県熊本市黒髪2丁目40-1 TEL. 096-344-2111 (代表)								
発行年月日	2006年3月31日								
ふりがな 所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因	
		市町村	遺跡番号						
せんぞきこふんぐん 千崎古墳群	熊本県 上天草市 大矢野町 維和 千崎	43212	18	32° 35′ 04″	130° 28′ 18″	20050911~ 20050928	15㎡ (5号墳の 発掘区)	学術調査	
所収遺跡	種別	時代		遺構		遺物	特記事項		
千崎古墳群	古墳群	古墳時代前期後半~中期前 半		箱式石棺 横穴式石室			横穴式石室の存在確認		
備考	北緯と東経は、測量基準点S E01の世界測地系による数値である。								

ふりがな	ひろうらこふんそくりょう・じっそくちょうさほうこく								
書名	広浦古墳測量・実測調査報告								
シリーズ名	考古学研究室報告								
シリーズ番号	41								
編集者名	神川 めぐみ (かみかわ めぐみ)								
発行機関	熊本大学文学部考古学研究室								
所在地	〒860-8555 熊本県熊本市黒髪2丁目40-1 TEL. 096-344-2111 (代表)								
発行年月日	2006年3月31日								
ふりがな 所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因	
		市町村	遺跡番号						
ひろうらこふん 広浦古墳	熊本県 上天草市 大矢野町 維和 広浦	43212	51	32° 32′ 31″	130° 27′ 48″	20050911~ 20050928		学術調査	
所収遺跡	種別	時代		遺構		遺物	特記事項		
広浦古墳	古墳	古墳時代中期					墳丘と石棺材が原位置をとどめずに残存		
備考	北緯と東経は、測量基準点Oの世界測地系による数値である。								

ふりがな	こばといせきはくつちょうさほうこく								
書名	小波戸遺跡発掘調査報告								
シリーズ名	考古学研究室報告								
シリーズ番号	41								
編集者名	芝 康次郎 (しば こうじろう)								
発行機関	熊本大学文学部考古学研究室								
所在地	〒860-8555 熊本県熊本市黒髪2丁目40-1 TEL. 096-344-2111 (代表)								
発行年月日	2006年3月31日								
ふりがな 所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因	
		市町村	遺跡番号						
こばといせき 小波戸遺跡	熊本県 上天草市 大矢野町 上 小波戸	43212	10	32° 35′ 02″	130° 24′ 34″	20030426~ 20030501	8㎡	学術調査	
所収遺跡	種別	時代		遺構		遺物	特記事項		
小波戸遺跡	包蔵地	縄文時代前期~古代				縄文土器・石器 ・木器・植物遺存 体、須恵器	縄文時代前期~後期前半の遺 物包含層の確認 植物遺存体の検出		
備考	北緯と東経は世界測地系による数値である。ただし、その数値は国土地理院ホームページの地形図閲覧システムによるもので基準点測量によって得られたものではない。								

考古学研究室報告 第41集

発行年月日 2006年3月31日

編集・発行 熊本大学文学部考古学研究室
〒860-8555 熊本市黒髪2丁目40-1
TEL.096-344-2111 (代表)

印刷 シモダ印刷株式会社
〒862-0951 熊本市上水前寺2丁目16-16
TEL.096-383-5512
FAX.096-386-5454